

博士論文の審査結果の要旨

専攻	保健医療学専攻	分野	理学療法学分野・
学籍番号	18S3032	院生氏名	高島 恵
通学キャンパス	東京赤坂キャンパス		
論文題目	理学療法分野におけるリーダーシップ教育の提案		
審査結果(枠で囲む)	合格		不合格
<p>< 審査結果の要旨 ></p> <p>1. 主論文について</p> <p>本研究は、理学療法士に必要なリーダーシップ行動と基礎的能力を明らかにし、リーダーシップの卒前教育を提案したものである。</p> <p>研究1ではリーダーシップ行動の在り方を理学療法施設 500 施設にアンケート調査を実施した。回答数は 142 施設であった。理学療法士に必要なリーダーシップ行動は集団維持及び課題達成重視、シェアド・リーダーシップと公正・公平な意思決定であり、必要な基礎的能力は問題解決・公平対応、話し合いによる調整、状況把握、相手の感情の読み取りであった。倫理審査(18-Ig-132)</p> <p>研究2では関連職種が考える「理学療法士に必要なリーダーシップ行動」、「理学療法士に必要なチームワーク行動」を明らかにすることであった。全国の病院施設等に所属する関連職種(医師、看護師、作業療法士などを対象に web アンケートを実施した。429 名の回答を得て因子分析を行った。結果はチームワーク行動では問題解決と公平対応、相手の感情の読み取り、話し合いによる調整、状況把握であった。倫理審査(19-Ig-127)</p> <p>研究3としてリーダーシップの卒前教育の提案がなされた。</p> <p>本研究の新規性は、理学療法士に対してリーダーシップ行動に関する調査が行われていないこと、教育への提案がなされたことである。</p> <p>2. 審査経過について</p> <p>審査に先立ち副論文の審査を行い、必要条件を満たしていることを確認した。審査会は 1 回(2020 年 12 月 8 日)実施し、その後はメール修正を行った。審査会では研究内容の妥当性、研究の限界および結果と考察の整合性について質疑応答を行い、提出された論文内容に問題ないことを確認した。</p> <p>3. 口頭試問の結果</p> <p>口頭試問においては、質問に対して適切に研究内容について回答でき、この分野の知識を十分に得ていることが確認できた。また、本研究の限界も熟知しており、今後の研究発展が望まれる応答であった。</p> <p>以上の結果から、審査会の審査員全員は本論文が著者に博士(保健医療学)の学位を授与するに十分な価値があるものと認めた。</p>			
論文審査担当者	主 査	丸山 仁司	
	副 査	柊 幸伸	
	副 査	樋口 清孝	